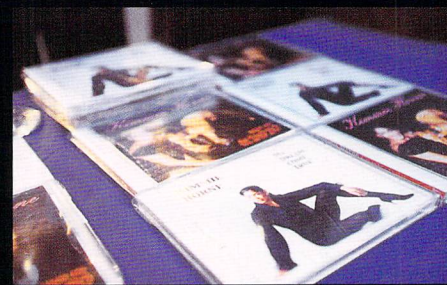


新風館 presents
KIMMIE HONE LIVE
 at shin-puh-kan Re-Cue

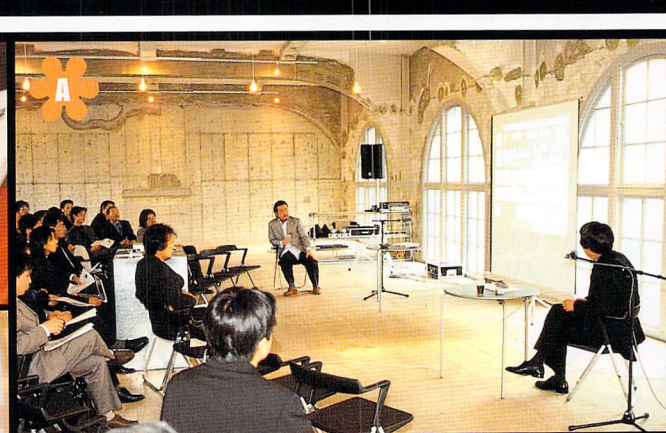
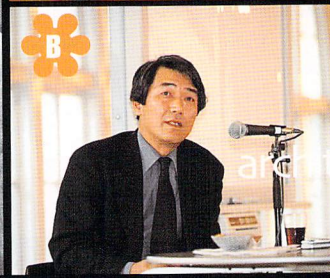
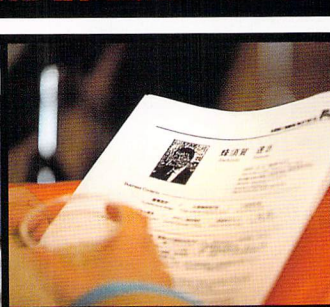
取材・文/中尾潤子 撮影/三國賢一



生まれたばかりのアーティスト、世間の耳から遠ざかっている実力派アーティストをインキュベートしたい…。自らアーティストのヒナを育てるふ卵器役を買って出て、「らしくないショッピングモール」をアピールする、ご存知、新風館。シンボリックなオープンスペースホール「Re-Cue (リキュウ)」を舞台に、新風館がプロモートする国籍不問のアーティストが、熱のこもったアクトを次から次へと披露してらんです、コレが。

「春眠、暁を覚えず」を地でゆく、とろとろと終日睡魔に襲われた4月15日の京都。「Re-Cue」では、デトロイト出身のジャズシンガー、キミー・ホーンの歌声にオーディエンスの寝ぼけマナコもふっとんだ模様。圧倒的な声量とファンキーなステージングで、当初「キミー・ホーンって誰やねん？」な〜んて言っていた輩もやられればなし。タナボタ的に「ヒリー・ホリデーの再来」ともヒユされる未来の大きに煽られて、皆さん、ご満悦ってヤツです。

新風館ができたこの場所は、かつては通信時代の黎明期を支えたオペレーションセンター。よって20世紀同様、21世紀の現在も、冷めないうちに情報を発信するが至上命題、次世代アーティストのプロモートもまた然りというワケ。さて続いて「Re-Cue」に現れるのは、一体誰？いやがうえにもボルテージは高まるってモンでしよ。



architecture・design talk-session series Vol.1
 at shin-puh-kan TRANS-GENRE

取材・文/トライアウト 撮影/三國賢一

「古都の趣の中にも、新しさが同居する…」本誌読者には言わずもがな、なこととはいえ、やはり新風館の登場は、センセーショナルにそのことを再確認させてくれた。で、その新風館からどんな情報発信ができるのか、がこのイベントの根底に流れるコンセプト。考えれば、元京都中央電話局の大正ロマンな建築物。それなら！と手を挙げたのが本誌おなじみの建築家・関氏。「温故知新」という京都不変のテーマを、建築を絡めてトークしましょうって話に。

第1回目となる今回は、ゲストに新風館をはじめ、NTTグループの建築に関わってきた峰須賀達志氏を迎えてのトークセッション。関氏の司会進行のもと、未来の建築界の在り方、という壮大なテーマでスタート。大手ゼネコンの背広姿が大半を占めるなか、大学生やバースタッフ、レストランオーナーなど、「関氏ファン」の姿もチラホラ。「後学のために」と必死で筆を走らせていたのは大抵そういう面々だった。

それはともかく、両氏の未来の建築話は熱を帯び、学会レベルのトークとなった今回。結局、大切なのは建築家・施工者・経営者の「コラボレート」で、そのいい例が新風館だという話。京都での建築の意義、それは「新しさを産むことであり、また過去を回顧するものでもある」という関氏の言葉に、すべては収束されたのでした。



SHIN-PUH-KAN



BEAMS
BOY

BEAMS
BASIC & EXPORTING

HU-TON

Cucina Italiana Bar Caffè
Zanetti

tawawa

GEORGE'S

hifuu...

212

Adam
et Raphaël

le.coeur blanc

ROYAL FLASH
Luxury

TABASA

(vilidž vānga:d)

DIESEL

Clarté
NIGHTWEST KARASUMA CAFE

HALF PENNY

FREE'S
SHOP

J. LINDBERGB
STOCKHOLM

DEUXCOTES

fleurir
tousjours

isla fábula

clo
blue

A prafá pracá

POKER FACE

P/U
VENOOME

GEORGE'S

ask a giraffe

萬の屋

バーチャル「新風館」
SHIN-PUH-KAN
6月のイベントインフォメーション満載!

<http://www.shin-puh-kan.com>

SHIN-PUH-KAN
新風館



shop am.11:00~pm.8:00
restaurant & cafe am.11:00~pm.11:00
〒604-8172
京都市中京区烏丸通橋小路下ル場之町586-2
TEL.075-213-6688 (代表)

- A. タップを踏み、客席まで降りてアジリまくるキミー・ホーン。ショーアップのセンスはもうケタハズレっす
- B. 「キミーさんは絶対、きますよ。これから！」と断言は、シンガー見習いのモッティ&タマキさん
- C. 祇園「ラポー」の上田氏が「エスパイエル」のCM、歌ってんの彼女だよって教えてくれたシンガーのニツァさん
- D. 最前列のド真ん中に陣取って、グランドホステスの先輩後輩コンビ。はるばる南は堺、西は尼崎からエントリー
- E. 「片岡1号、2号です」とペア・メガネの2人は、すでにご夫婦(若!)隣りでサチボーさんも当てられっぱなし?
- F. 「新風館」の中心に現れた、巨大なシルバーのカーテン。サーカスではありません。これぞ円形シアターの変形



- A. 会場は新風館3FのTRANS-GENRE。アルコールあり、のドリンクを片手に、お客は両氏のトークを拝聴
- B. 演説中の蜂須賀氏曰く、「新風館はショップが経営側に参加した新形態。斬新なことも挑戦できた」
- C. トーク前の關氏。「情報発信の場として新風館をアピールしたい」と抱負を一言。ちょい緊張気味?
- D. 關氏ファンを自認するのは、復活が望まれるラブライブ・オーナー大原氏。「熟考中の新展開の参考にさせていただきました」
- E. オトコマエ発見! 關氏の愛弟子・高橋さんとパチリのダニエル氏。6月15日開催の第3回イベントは彼の仕切りで
- F. パーのオーナーやスタッフも参加。「關さんの働いているところが見たくて(笑)」とはBAR LOOPの岩佐さん
- G. 「蜂須賀さんの作品ももっと見たかった。時間が短くてちょっと残念」とカッシーナ大坂店の近藤氏(左)と杉本氏(右)
- H. 「建築界の今後を聞きに」と学生の鏡・吉本さん(右)。対照的な「付いて来ただけ」の中山さん(左)と
- I. セッションをサポートしてくれたのは、左から田中サン、新風館館長・渡辺氏、副館長・佐々木氏、関事務所・山本サン

